

我孫子第三小学校 学校だより

Sunshine



学校 HP <http://abiko.schoolweb.ne.jp/103>

学校教育目標

自ら学び 支え合い たくましく生きる子の育成

令和7年度 3月号

TEL 7184-1171

令和7年度 学校評価アンケート結果について

令和7年度学校評価につきまして、ご協力ありがとうございました。アンケート結果についてお知らせします。

皆様からお寄せいただいた評価及びご意見につきましては、来年度に向けて振り返り、職員一同改善の視点を念頭に前向きにとらえ、今後の教育活動に生かしてまいります。

また、3年目を迎える本校の学校運営協議会においても委員の皆様の評価とご意見を参考に協議し、次年度の学校経営方針を作成してまいります。

1. 実施日 保護者・教職員・児童 令和8年1月16日(金)～1月23日(金)

2. 実施者及び回答率

	配付数(人)	集計数(人)	回収率
教職員	60(回答対象者)	54	90.0%
保護者	682(児童数で回答)	547	80.2%
児童	682	694	101.8%
全体	1424	1295	90.9%

※同じ児童が複数回回答したケースにより、児童の回収率は100%を超えています。

3. 学校運営協議会委員による学校運営への自己評価(学校運営協議会2/25実施)

これまで、学校運営協議員の皆さんには、学校評価の取り組み自体への評価をしていただき、学校評価に掲載していました。

現在は、我孫子市全小中学校でコミュニティ・スクールが全面実施されており、旧学校評議員制度から学校運営協議会の制度に移り変わりました。学校運営協議会委員の皆さんは、学校に対して評議・評論するのではなく、「共に学校運営に携わり、共に学校を創っていく」方々です。

そのため、今年度より、学校運営協議会委員の皆さんからのご意見は、学校評価の「学校からの考察」の中に加え、今後の学校運営の工夫改善に生かしてまいります。

4. 集計結果の見方について

- ・ 集計結果の設問の文言は、児童アンケートに合わせています。教職員と保護者は、それぞれの立場に読み替えてご覧ください。

(例) 児童…「学習はわかりやすく、学んだことが身についている。」

保護者…「お子さんは、学習内容が身についている。」

教職員…「児童は、学習内容が身についている。」

- ・ 左側が今年度（R7年度）の結果、右側が昨年度（R6年度）の結果になっています。経年変化をみとるための資料としてもご活用ください。



学習について

令和4年度から3年計画で令和6年度まで算数科研究を中心に「わかる楽しさ、できる喜びを感じ、主体的に学ぶ児童の育成」を研究テーマとして研究を重ねてきました。今年度は、教科を新たに体育科に指定して、目標の設定の関する話し合いや理論研修を中心に研修を進めてきました。また、今年度も引き続き若年層教員を中心とした自主研修により、教職員の指導方法を工夫し、日々の授業改善を進めてきました。

そのため、学習に関する質問事項において、昨年度と比較して、児童、職員、保護者の肯定的な意見は概ね昨年度と同様でした。

<わかる授業・楽しい授業づくりについて>

今年度は、Q5～Q7における、児童の学習に関する興味関心や基礎学力の定着や表現力の高まりに関する項目の数値で、保護者の方の肯定的な意見が、昨年度と比較してやや増加した傾向にあります。また、Q16の質問では、保護者の方の肯定的な意見が昨年度よりも増えており、教員への授業づくりへの保護者の方の期待が感じ取れました。

これらのことから、「わかる授業」「楽しい授業」に努めていかなければいけないことを、改めて感じました。そのために、校内研修等を通して、教員同士の授業力向上に向けた学び合いを推進していきたいと考えます。

<読書活動の推進について>

また、読書活動は、今年度も学校図書館の効果的な活用や「ひょうたんから本^o」の皆さんの読み聞かせ活動、図書委員会の子供たちの読書活動推進のための取り組みや、移動図書館「そよかぜ号」の活用等により、今年度も推進してきましたが、更に、家庭読書にも力を入れて推進をしていきたいと考えます。

<保護者ボランティアの学習支援について>

また、保護者の皆様のご家庭の教育力と本校教育へのご支援の力も大きいと感じます。例えば、図工ののこぎりボランティアや家庭科のミシンボランティアでは、児童の安心、安全の見守りをさせていただきつつ、技術的な指導をしていただけたことで、効果的に学習を進めることができました。また、生活科の町探検ボランティアでも、児童の引率とともに、見守り及び声掛け支援をいただけたことにより、児童は生き生きと学ぶことができました。

このように、学校と家庭が力を合わせて、これからも確かな学力を育む学習を充実させていきます。



生活・安全・安心について

生活・安全・安心に関わるQ9~Q11の項目において、昨年度と比較して児童、職員、保護者の肯定的な意見は概ね昨年度と同様でした。また Q14, Q17の項目において、昨年度と比較して職員、保護者の肯定的な意見は、概ね昨年度と同様でした。これは、生活面、安全面、安心面に関する教育活動の積み重ねによる成果であると考えます。

なお、児童の生活・安全・安心の面で、それぞれの質問項目で概ね昨年度と同様ではありますが、肯定的な意見が児童、保護者、教職員ともに若干減っている項目もありました。そのため、これまで以上に、学校と家庭と地域が協力して、児童の安全・安心な学校生活に向けて、取り組みを着実に継続させていくことが大切と考えます。

<避難訓練による防災、防犯意識の向上について>

今年度も昨年度に引き続き、火災・地震・不審者などの引き渡し訓練は、年間を通して定期的に行っており、防災・防犯意識を高めています。今年度は、中学校区規模での引き渡し訓練を実施し、地域全体の防災意識の向上を図ることができました。なお、今回の中学校区合同の避難訓練では、保護者の皆さんからのご意見を頂戴しましたので、そのことを次年度の実施に向けて整理して、計画を立案しています。「中学生の小学校への移動の方法」や「児童の引き渡しまでの待機の方法」や「保護者への引き渡しの方法」や「児童や保護者の熱中症対策」等、より実態に即してわかりやすく動きやすい計画を立案して示していけるようにします。

<交通安全への意識向上について>

Q9の交通安全の項目では、昨年度と比較して、職員・保護者・児童ともに、概ね同様の結果となりました。今年度は、1~4年生が我孫子警察署の方をお招きして、交通安全教室を実施し、安全な横断歩道のわたり方や自転車の乗り方について発達段階に応じて学習することができました。また、日常より、登下校時の交通安全や放課後の安全な過ごし方等については、学校において児童への指導を行いつつ、学校だよりや H&S で保護者や地域の皆さんに児童への声掛けをお願いし、学校、家庭、地域で協力して児童の意識向上を目指してきました。今後も、引き続き、児童の交通安全への意識向上を図ってまいります。

<他機関との連携、保護者・地域との連携について>

また、学校外での怪我や事故等についても、日々の安全教育の中で、子供たちに自分の安全を自分で守る力を身につけられるよう取り組んできました。さらに、今年度は、新たに交通安全教室の実施やSNS活用に関する情報モラル教育出前授業や AED 講座の実施等を通して、児童の安全・安心を守るための教育活動を充実させることができました。また、引き続き、学校だけではなく、保護者や地域の皆さんにも、登校時の見守り活動や様々な学習時の安全見守り活動に、PTA活動やボランティア活動の中でご協力いただきました。児童の安全・安心を守るためには、学校と家庭と地域が力を合わせて取り組むことが不可欠であると強く感じております。

<あいさつやルールを守って生活することについて>

また、Q3、Q4のあいさつやルールを守って生活することに関する項目に関しても、今後も、子供たちの生活・安全・安心のために、あいさつの良さや大切さについての継続した指導を行うとともに、廊下歩行や時間を守って行動すること等、基本的な生活習慣について、丁寧に指導を続けていく必要性を感じました。

今年度は、我孫子中学校区の小学校において、子供たちの学校生活におけるルールについて共通理解を図った上で、明確にして示すことによって、より児童が生活面でのルールを守って安全に生活できるように、教職員の中で話し合いを行いました。教職員の子供たちに対する指導や声かけの方法については、全ての教職員がどの学級においても、同一のスタンダードで、丁寧に伝わりやすい方法で対応することができるよう努めます。

4月より、そのルールを改めてお示しする予定です。学校で子供たちにルールを示す時には、「〇〇と決まっていますから守りましょう。」ではなく、「そのルールが必要な理由は〇〇だから、ルールを守ることによって、皆で協力をして安全、安心な生活にしていきましょう。」というように、子供が理解・納得できるように説明をしたいと考えます。その際は、その方向性に沿った子供たちへの指導を、教職員一同一貫して行いたいと考えています。ご家庭におかれましても、ご理解とご協力をお願いします。

<教育相談の充実について>

そして、引き続き、教育相談体制を充実させることや教職員の子供たちに対する指導や声かけの方法を工夫すること、そして、ご家庭への連絡・情報提供を適切に行っていくことは安全で安心な学校生活につながっていきます。そのために、心の教室相談員やスクールカウンセラー等の相談窓口の周知を更に図り、効果的な活用を引き続き進めていきます。校内教育支援センター「お日さまルーム」も、児童の安心、安全な学校生活の一助のために、昨年度から設置されています。ただし、そのような相談窓口だけではなく、学校の教職員たちは、全て子供たちの味方です。誰に声をかけても大丈夫ですし、丁寧に対応をしますので、悩んだときには、遠慮なく教職員に声をかけてほしいと考えます。

また、心の相談室等は、ともすると、「少し訪れづらい場所だな。」「友達に利用しているところを見られたら嫌だな。」等と思うことがあるかもしれません。しかし、心の相談室は、「つらいことや嫌なこと」を相談するだけの場所ではありません。「楽しいことや嬉しいこと」等を何気なく会話するような場所としても利用してほしいし、そのようなことを教職員に気軽に話してもらえればうれしく思います。

<心の天気の利用について>

また、今年度は、「心の天気」の時間を時間割に組み込んで、全学年、全学級で実施をしました。子供たちが1人1台のタブレット端末を活用し、朝と帰りの時の心の状況を天気に例えて表します。例えば、「いつも晴れをマークしている子供が、その日は雷のマークをつけていた際に、担任がその結果を見て、個別に声をかけたところ、友達関係での悩みを担任に相談することができて解決に向かった。」等、心の天気についても、今後も効果的に活用して、子供たちの安全・安心な生活を守っていきたいと考えます。

<Home&School の活用について>

今年度2学期より、学校から家庭への連絡や手紙配信のアプリが変わりました。「Home&School (以下 H&S と記載)」を用いると、学校からの連絡だけではなく、学校と家庭の連絡を取り合うことも可能であり、現在、児童の出欠についても、このアプリから行っております。担任等からのメッセージを直接届けたり、保護者からのメッセージを学校に届けたり、担任等と保護者のやりとりの手段としても活用できますので、学校生活アンケートや行事毎のアンケートにかかわらず、学校と保護者の情報共有の手段としても、今後、効果的に「H&S」を活用していきます。

例えば、「担任と相談したいことがあるけれど、電話や連絡帳では連絡がしづらいので、H&Sのコメント欄で伝える」ということも可能です。是非、教育相談のツールとしても新しい ICT 環境を活用していきたいと考えています。

また、現在は、これまでに使用していた「スクリレ」と「H&S」を併用して、保護者の皆さんへの連絡を行っておりますが、来年度からは、原則「H&S」を一本化して活用してまいります。(学校ボランティアの連絡については、地域の皆さんへの連絡が必要となるため、引き続きスクリレを活用します。)

保護者の方からは、「H&S」が使いにくいとのご意見もいただきましたが、「H&S」は、我孫子市の ICT 環境の変更に伴い、市内小中学校で共通して採用となった連絡アプリですので、本校におきましても、使用を継続してまいります。

また、学校からの連絡についても、内容を精選して情報過多とならないようにし、見やすくわかりやすい情報発信に努めたいと考えています。なお、このアプリは、我孫子市からのお知らせやチラシ等が、学校を経由せずに直接届くことがありますことをご承知おきください。

<情報公開について>

また、Q12の学校から家庭に対する情報公開の項目については、昨年度と比較して、保護者の、肯定的な意見が多くなり96%を超えています。これは、日頃の学級での出来事を、各担任が家庭と密に連絡をとり情報共有を図っている成果と考えます。

また、学校で行われている教育活動を、より多く深く知っていただきたく、今年度も学校ホームページのこまめな更新を心がけました。なお、学校ホームページが新しくなり、これまでとレイアウトが変わりましたので、より見やすいホームページ更新を心掛けてまいります。そして、引き続き、児童の活動の様子を中心に、その様子の裏側で児童を支える教職員、保護者の皆さん、地域の皆さん等の、人の思いに焦点を当てて紹介することを心がけました。今後も、更に、わかりやすく教育活動の内容や関わる人の思いを伝えていけるよう、工夫改善をしてまいります。

<感染症拡大防止の対策について>

また、今年度も、インフルエンザの流行により、2学期に、複数学級の閉鎖を余儀なくされました。また、音楽フェスタの実施方法を変更させていただきました。その際には、保護者の皆さんに仕事の面での都合をつけていただいたり、お子さんの体調管理に配慮をいただいたり、多大なるご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。また、子供たちや保護者の皆さんが楽しみにしていた音楽フェスタ等

の行事の方法が変更になったにも関わらず、ご理解とご協力をいただいたことにも感謝申し上げます。

ただ、学級閉鎖が決定してから、それをご家庭にお伝えするにあたっては、どうしても前日の判断となります。その際には、その学級にあてて H&S と紙媒体の配付をしております。今後も緊急の判断を要する場合には、同様の対応をいたしますので、ご理解とご協力をお願いします。

<朝の昇降口開錠の時刻と児童の並び方について>

現在、本校では朝8:00に昇降口を開錠しています。そのため、8:00前に登校した児童については、昇降口前で待機をすることとなっています。その際に、「児童が来校者の歩行の妨げになってしまっている」や、「8:00に一斉に昇降口から校舎内に入ると児童の接触があって危ない」というご意見をいただきました。

そのことを踏まえて、本校では、開錠の時刻は、これまで通り朝8:00に行いたいと考えています。ただし、児童の待機の方法については、安全な整列の仕方や待ち方について、学校において指導をしております。ただし、本校は、校舎が3つに分かれており、それぞれの校舎によって立地も異なり、整列待機の際に配慮するポイントも変わってきます。そのため、「必ず1列に並んで待つ」といった声掛けの方法は効果的ではなく、「どのように待てば、より自分たちが安全に、そして他の人たちも安心して待てるか」ということを考えて、待機の方法を工夫の上、指導していきます。ラインを引いて並ぶ場所を示したり、何列で並ぶことが効果的であるかを助言したり、どの場所を避けて並べばよいかを示したりと、児童への指導について、工夫をしております。



学校行事について

学校行事につきましては、方法を変更して実施した行事もありましたが、保護者の皆さんや地域の皆さんのご理解により、予定行事を成功裏に終えることができました。

<音楽フェスタについて>

音楽フェスタについては、インフルエンザ等感染症拡大防止のため、今年度は、動画配信にて実施をしました。他学年の歌声を聴く機会を心待ちにしていた子供たちにも、子供たちの歌声を楽しみにしていた保護者の皆さんにも残念な対応となってしまいました。

しかしながら、動画配信の決定について、子供たちも対応の上、一生懸命練習に励み、素晴らしい歌声を響かせることができました。また、保護者の皆さんのご理解とご協力があり、動画配信も無事行うことができました。そのことに、心より感謝申し上げます。なお、動画配信の期間については、児童の個人情報保護の観点から、区切らせていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。今後も、感染症拡大防止の観点から、実施の方法が変更となる場合があることをご理解いただけますと幸いです。

<あわんとりについて>

今年度は、強風の予報が出ていたため、児童の安全を最優先し、残念ですが、放送での実施とし校庭で炎を上げることができませんでした。事前準備にあたっては、保護者や地域の皆さんの多大なご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

来年度は、例年通りのあわんとりを盛大に実施できるよう、準備を進めてまいります。その際には、ぜひ、多くの保護者の皆さん、地域の皆さんに起こしただければ幸いです。

<運動発表会について>

全校一斉で行いたい、という声を、毎年のアンケートにていただいております。今年度は、それらの声を参考として、「全校表現発表会」を実施し、各学年の表現運動を全校児童で参観し合う機会を設けました。そして、保護者の方の参観も可能な形にしました。全校参集型で実施をした「全校表現発表会」については、子供たちからも、保護者の皆さんからも、「とても有意義であった。」「子供たちの頑張りに全校で声援を送れることは素晴らしい。」という肯定的なご意見をたくさんいただきました。

それらの声を踏まえて、来年度の運動発表会の在り方については、「全校児童参集型」「保護者の皆さんの一斉参観型」も含めて、現在、検討中です。決定した内容については、後日、学校から保護者の皆さんにお知らせをいたします。

このように、学校行事の在り方については、学校として「子供の成長」を中心にした上で、「安全・安心」に実施できるように熟議をし、その結果を責任をもって保護者の皆さんにお示しをしていきたいと考えます。特に、実施方法が当初の計画から変更となる場合等については、できる限りわかりやすく、できる限り早く保護者や地域の皆さんにお伝えできるよう努めます。そのようにして、今後もしっかりと検討を行い、よりよい学校行事を創っていきたいと考えています。

PTA 活動・地域学校協働活動について

Q18の学校と保護者と地域との連携に関する項目は、今年度も引き続き肯定的な意見が多く、教職員が100%、保護者の98%が肯定的な回答をしています。

三小は、正に「地域とともにある学校」です。我孫子市内全市でコミュニティ・スクールを実施していますが、三小は、その中でも推進の中心校であることを自負しております。それは、ひとえに、「PTA役員」「地域学校協働活動推進員」「学校運営協議会委員」といった、学校と保護者と地域をつなぐ中心的な役割を担うメンバーの方々の日々の尽力のおかげです。

そして、そのメンバーの皆さんを中心として、主体的な学校と保護者と地域の協働的な活動を支えるべく、多くの保護者や地域の皆さんが学校教育に多大なる協力をいただいています。

学校としては、このことを「当たり前」ではなく、「有難いこと」とであると、改めて実感し、「感謝の気持ち」「ありがとうの気持ち」で、地域学校協働活動を推進していけるよう努めてまいります。具体的には、学校で保護者ボランティアの皆さんに子供たちが出会ったときには、気持ちのよい挨拶とともに「ありがとう」の言葉を伝えられるように、職員からも保護者の皆さんに「ありがとう」の言葉を伝えられるように、全校で共通理解を図ってまいります。

今後とも、保護者や地域の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

学校運営協議会より(2/25実施)

<学習支援ボランティアについて>

今後も三小は地域と共にある学校として、家庭と地域の皆さんの協力を得ながら教育活動を実施していきたいと考えています。まず、日頃より、ご多用中にも関わらず、ご来校いただきボランティア活動に参加いただいている保護者の皆さん、地域の皆さんに心より感謝を申し上げます。そして、今後、学習支援ボランティアに参加を希望される方は、ぜひ、「子供たちの学校での日常の様子を見るチャンス」としても、ボランティア活動に参加していただければ幸いです。

<朝の昇降口開錠前の児童の安全について>

地域住民の立場から、三小の様子を見守っていると、何年か前は、8:00よりも早く登校した児童が道をふさぐような形で待機する状況も多く見かけましたが、最近は、家庭の協力もあり子供たちの登校の時刻が丁度良い時間帯になってきていて、混乱が少なくなっていると感じています。

朝の時間帯の子供たちの見守りは、地域としても協力、継続していきたいと考えていますので、今後、お子さんの安全面での声掛けについて、保護者の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

<第3校舎裏フェンス沿いの校門について>

第3校舎裏の校門については、使用する人数は少ないのですが、時折業者の方等が出入りに使用する場合があります。学校としても、使用の際には、十分に安全に気を付けて使用をいただくようお願いをしております。校内の安全確保については、安全管理員が定期的に見回りをする等の方法で注意を払っております。

その上で、保護者や地域の皆さんにも児童の見守りにご協力をいただければ幸いです。

<学校行事について>

運動発表会が全校参集型になった場合には、入場の方法や保護者誘導の方法について工夫、配慮が必要と感ずます。例えば、事前くじ引き制にして朝の混雑を緩和したり、整列に関する呼びかけをフェンスに掲示したりできればよいと思ひます。以前の三小で全校参集型の運動会を実施していた時、PTA をはじめとした保護者の協力を得ながら楽しく実施をしていたことを記憶しています。そのような時は、ぜひ、学校、保護者、地域で協力して子供たちのために学校行事を運営していければと考えています。

バザーのキッチンカーの取り組みは初めてのことでしたので、初めての試みにチャレンジしたことに大きな意義があります。その上で、例えば地域にある店に協力を依頼して、少しでも安価で販売できないか検討できればよいと考えます。ただし、PTA イベント委員のバザー運営に関する負担について、最大限の配慮をしなければいけません。そのために、バザーの円滑な運営にあたっては、保護者や地域の方々の更なるご理解とご協力をお願いしたいと考えます。

6年生を送る会を学校運営協議会委員として参観することができて、とても有意義でした。参観していると、まるで自分が褒められているかのような感覚になり、感動で涙がでました。このような行事は、とても有意義であり、これからも続けていってほしいと願ひます。

このように、各行事を成功させるために、学校と保護者と地域で協力していけるよう、今後ともご協力をお願いします。



その他

<学級の児童数と学級数の基準について>

各学年の学級数については、国及び県の基準に従って、在籍児童数によって決定されます。なお、来年度の国及び県の学級編成の基準は、1～6年生までの通常学級（特別支援学級在籍児童を除く）が1学級35人、特別支援学級が1学級8人です。そのため、転出や転入の情報については、その都度、学校へ連絡をお願いします。

<アンケートの記名について>

現在、学校生活アンケートについては、記名式で実施をしておりますが、「記名式だと本音を書きにくい」とのご意見もいただきました。

その上で、本校においては今後も、記名式でアンケートを行ってまいりたいと考えています。アンケートに記名をするということ、記名されたアンケートを受け取るということは、学校と保護者の皆さんの双方が、記載された内容に責任をもち、協力をして向き合うということだと考えます。

今回のアンケートでも、多くの保護者の皆さんより、学校への温かい応援メッセージをいただいております。また、課題点についてもご意見をいただいております。そのような、保護者の皆さんが、気持ちを込めて記載したご意見を、学校は責任をもって受け止め、課題の改善に向けて真摯に取り組めます。なお、記名をしていただいたことにより、保護者の皆さんが不利益を被ることはありません。

今後も、学校と保護者の皆さんが協力をして、教育活動を実施してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

